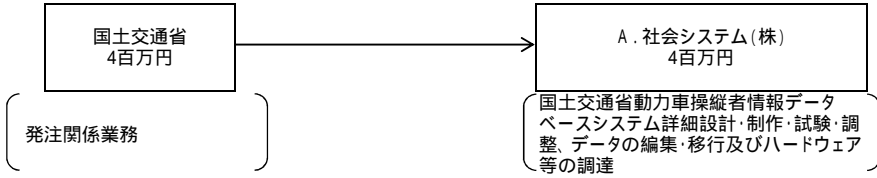


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	動力車操縦者運転免許システム		担当部局	鉄道局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H23		担当課室	安全監理官		監理官 中桐 宏樹		
会計区分	一般会計		施策名	36 市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	平成17年4月に発生したJR西日本福知山線における列車脱線事故等を踏まえ、鉄道事業法の改正等を行ったところであり、鉄道事業者が運転士に必要な資質の充足状況を定期的に確認するとともに、その結果を国に報告することとなっている。輸送の安全の確保のため、運転士の資質の維持・管理の状況を一元的に把握することが求められる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国が、運転士の資質の維持・管理の状況について把握し、事業者に対する指導・監督等を適切に行うためには、運転士の資質の充足状況に関して報告される内容と動力車操縦者運転免許情報の照合が極めて重要である。しかし、現状としては、当該免許情報が電子化されるに至っていないため、当該免許保有者(およそ17万件)の照合に時間を要している。このようなことから、運転士管理の徹底を図るため、動力車操縦者運転免許原簿を電子化し一括管理を行う。また、各運輸局、本省間の情報の共有化を図るほか、統計やデータの抽出等を可能とし、事務手続きの高度化及び効率化を図るシステムを構築する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算			15	14	-	
		補正予算			0	0		
		繰越し等			0	0		
		計			15	14	-	
	執行額			4				
執行率(%)			27					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	動力車操縦者運転免許証1件当たりの照合時間	成果実績	分				1	1
		達成度	%				100%	
	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	動力車操縦者運転免許証1件当たりの作成時間 免許証データの印刷機能付加は23年度実施	成果実績	分				-	7
		達成度	%				-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	既存のデータをシステムとして構築することを目的としたものであり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)	-			-	(-) (-)
単位当たりコスト	36 (万円/システム)		算出根拠	4百万円/11システム(本省、9運輸局、沖縄総合事務局)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算 (千円)	24年度要求	主な増減理由				
	庁費(本省)	14,208	-					
	計	14,208	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き継ぎ競争性のある発注方式を継続するとともに、限られた予算の中で、より効果的な運転免許管理システムを構築するための方策について検討する。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		競争性のある発注方式の継続とより効果的な手法を検討すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
今年度限りとする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

平成22年度実績を記入

A.社会システム(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	動力車操縦者情報データベースシステムの構築	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会システム(株)	動力車操縦者情報データベースシステムの構築	4	8	26.67%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					